ユナイテッドエンジニアリング

ガス工事を主軸とした総合設備工事会社へ

ユナイテッドエンジニアリング（UE）は、キャプティエンジニアリング（CPE）とライクス（LK）が統合して2025年10月に設立された総合設備工事会社だ。ガス工事を主軸とした日本トップレベルの総合設備工事会社を目指す、同社の強みや今後の方向性などを山口裕介社長と高尾計児副社長に聞くとともに四つの事業本部を紹介する。（聞き手・深草 宏之）

山口裕介社長と高尾計児副社長に聞く

ガス・電気・水道・空調を一括受注

――社名とロゴマークに込めた思いは。

山口裕介社長　創業は1850年にさかのぼり、そのルーツは江戸時代末期にある。東京ガス創業当初から銀座のガス灯の仕事などに従事し、事業を拡大してきた。

かつて当社のグループには関配・トーヨコエンジニアリング・ニチガ・中央ガス・山形組など、十数社に及ぶ企業が存在していた。「各社が長年にわたり培ってきたDNAを受け継ぎ、結び合わせ、ひとつの力へと昇華させる」その「結合」の思いを込めて、ユナイテッドエンジニアリングという社名を掲げるに至った。UとEを重ねたロゴマークはEの部分を「三本の矢」として表現している。これは、大切にする価値観である「誠実・共生・挑戦」を示すとともに、設備工事会社にとって重要な「安全・品質・コスト」も象徴している。右方向へ広がる三本の矢は、これから力強く成長していく姿を示すものである。

ロゴマークの色にも明確な意味がある。Uの部分には、カンパニーカラーであるターコイズグリーンを採用した。この色は、CPEのコーポレートカラーであった青とLKのコーポレートカラーであった緑を混ぜ合わせて生まれる色であり、両社の融合を象徴している。

山口裕介社長

高尾計児副社長　社名に団結や統合を意味する「UNITE」に「エンジニアリング」を組み合わせたのは、経営理念「私たちは、技術で豊かな社会を彩り、人々に幸せを届けます」にあるように、工事会社として常に技術力を高め、社会環境や人々の暮らしを支える技術者集団であることを目指しているからである。エンジニアリング会社として、青い地球を後世に残すため、安全で高度な技術を持って快適な環境を社会に提供し、人類の幸せを創造していきたい。

――統合の目的と背景は。

山口社長　マクロ的には、長期的な人口減少と住宅着工戸数の減少が背景にある。着工戸数はピーク時の約半数にまで落ち込んだ。加えて、ガス・電気の小売り自由化、脱炭素化の加速、デジタル化の進展など、事業環境の構造的変化にも対応する必要がある。

一方、ミクロ的にはゼネコンやハウスメーカーといった顧客において、ガス・給排水・空調・電気といった設備を一括で発注したいというニーズが高まっている。こうした顧客ニーズに的確に応えていくことが求められている。また、業界全体で人手不足が深刻化している中、効率化や生産性向上に向けた取り組みも不可欠となっている。

大規模工場や高層ビルなど、高度なガス設備に関する技術力を有するCPEと設備の一括受注を強みとしてきたLKが統合し、両社のシナジーを最大限に発揮することで、さまざまな環境変化や顧客ニーズに柔軟かつ確実に対応していきたい。そして、ビジョンである「ガス工事を主軸とした日本トップレベルの総合設備工事会社」の実現を力強く目指していく。

社員にとっては、チャレンジできる業務フィールドを広げることで、さらなるモチベーション向上につなげていきたい。また、約600社に及ぶ協力企業の皆さまとも事業領域の拡大を通じて共に成長していける関係を築いていく。

高尾計児副社長

高尾副社長　脱炭素化、省エネ化、デジタル化、生産性の向上、快適な空間等、設備に対するお客さまのニーズは多様化している。また、インフラや設備は定期的なメンテナンス、老朽化に対する改修工事の必要性が増している。

LKとCPEが統合し両社のシナジー効果を最大限発揮すると共に、UEグループには設備設計会社、電気工事会社、建物管理会社等のグループ会社が多くあり、UEグループ全体で連携し総合設備会社としてお客さまの多様なニーズにワンストップ（営業・設計・施工・メンテナンス）で提供できる。

また、ワンサイクル（新築からアフターケアー、リフォーム、そして新築）をお客さまのライフサイクルに寄り添い、長期的なサービスで提供することができる。

企業として勝ち残るには、お客さまの多様なニーズに応え続けることが重要である。社員にも新しいステージでいろいろなことに挑戦してほしい。そして、技術者として成長し、物心両面で幸せになる環境を提供していきたい。

――総合設備工事事業の頂点に達するための課題と、その解決策は。

山口社長　建設業界全体の課題として、施工の担い手不足がますます深刻化している。協力企業様においても高齢化や採用難、事業承継問題が顕在化し、安定した施工体制の維持が喫緊の課題となっている。

当社では、協力企業様への支援を強化するとともに、社員技能工（技能士）の育成に注力してきた。現在、ガス・給排水・空調・電気などの分野で約100名の技能士を自社で抱え、施工力の補完・強化を図っている。技能士を単なるコストではなく、将来に向けた重要な投資と位置付けている。そのため、継続的な採用と計画的な育成に力を注ぎ、企業としての施工力を長期的に高めていく方針である。

ガス設備設計を担うグループ会社をベトナムに有しており、同社を起点としてベトナム人材の受け入れを進めている。来日した方々は、現場で技能を習得しつつ、施工体制の維持・向上に大きく貢献している。さらに、国内の高校や大学との連携による採用活動に加え、企業の合併・買収（M&A）を通じた技術者の確保にも積極的に取り組んでいる。

グループ内には、11社の企業が存在し、重複した事業領域も見られるので、各社の役割を整理してグループ全体の最適化を図っていく。

高尾副社長　日本と同様に米国も現場の担い手は減少している。それに伴い技術を持っているブルーカラーの所得が急激に増加している。所得が上昇する将来的な見通しは、建設業全般の魅力を上げる効果があると期待している。しかし、現状は施工の担い手不足、採用が厳しい状況である。

そのような状況でも、当社を選択してもらうには、働きやすい環境の整備が重要である。情報技術（IT）を活用した生産性の向上、休める会社等、健康経営を目指すことで採用を強化し成長戦略につなげていく。

目標に向かって全社員が気持ちを一つにし、団結「UNITE」することを目的に、経営理念・我々が目指す姿・我々の大切にする三つの価値観・経営や安全品質等15項目の方針をまとめ、行動規範として小冊子「UEイズム」を作成して、全社員に配布した。「UEイズム」の浸透を図ること、経営と現場の距離を近くするため、意見交換を重視して、130人近くいるチームリーダーとの面談を年2回、また21カ所の拠点巡回も行っている。

――都市ガス事業者を含めた顧客に提供できるメリットは。

山口社長　当社は長年にわたり、東京ガスの工事会社として事業を展開してきた。

守りの領域では、東京ガスから東京中心部の緊急工事をはじめとする維持管理業務を任され、都市ガス事業の安定供給と保安の確保に取り組んできた。

攻めの領域では、他燃料から都市ガスへの切り替えに関する営業から施工までを一貫して担い、業界トップの実績を残してきた。こうした取り組みを通じて、都市ガス事業の拡大に大きく貢献している。さらに、CPEの高度なガス設備工事技術を継承し、大規模工場や高層ビルの施工にも確実に対応することで、ガス事業者を技術面から力強く支えていきたい。ガス工事会社として国内最大規模となることで、さまざまなスケールメリットも創出できる。この強みをより積極的に顧客へ訴求していきたい。

当社は、日本で初めて集合住宅への燃料電池導入工事を手掛け、またオリンピック選手村に敷設された水素パイプラインの設計にも携わってきた。これらの経験を生かし、今後は顧客の脱炭素化の取り組みにも一層貢献していきたい。

高尾副社長　UEグループ全体で1500人近い人材がいる。ガス事業者にはガス化だけでなく、電気、給排水、空調等、総合的なソリューション提案において設計・施工・アフターと一貫して貢献していきたい。また得意とする溶接技術を活用し、産業用の燃料転換に伴う工事などは、全国規模で展開していく。

ITを活用した効率化にも取り組んでいる。例えば、図面や見積もり書などを電子化し、基幹システムでの一括管理を進めている。さらに導管工事などの施工者が装着したウェアブルカメラの画像を、本社のモニターで共有しており、必要に応じて遠隔から現場へ直接指示を出している。

コスト削減だけでなく、施工の安全品質維持などでお客さまのメリットにも貢献していきたい。

設備工事の総合プロデュース

都市インフラをワンストップで

ライフラインの設計・施工が主な事業で導管、リビング、設備、保安――の四つのライン事業本部で業務を遂行している。

高い技術力の導管土木工事

導管事業本部

導管事業本部は、主に東京ガスネットワーク（TGNW）から受注する道路部分のガス管新設や取り換え工事を行う。

対象は本支管や供給管で修繕、舗装工事も施工する。鋼管メーカーや東京ガスエンジニアリングソリューションズ（TGES）などからも中低圧導管工事を受注している。さらに東京都水道局から水道管工事も受注しており、同事業本部の売り上げの約1割を水道管工事が占める。

同社の強みは口径50～200㎜の非開削工事を30年以上継続して施工してきた豊富な実績にある。一昨年、非開削工事用の新たな建機を導入し、さらなる強化を図っている。

ガス導管工事では施工管理者の人材確保と定着が課題となっている。デジタルトランスフォーメーション（DX）やAIを活用した業務効率化による施工管理者の負荷軽減に加え、TGNWが主催する当社を含むパートナー企業合同の新入社員配属後研修会に、社員を参加させるなどモチベーションの維持と早期戦力化に注力している。

取締役執行役員の竹内譲治導管事業本部長は「TGNW様のねずみ鋳鉄管の入れ替え工事が今年度で完了する予定で、来年度は若干余力が発生する見込みのため、水道管工事の拡大、電線敷設など他工種の土木工事も受注獲得を目指す」と話している。

竹内譲治
導管事業本部長

内管工事メインに総合設備工事を展開

リビング事業本部

リビング事業本部は、リビング企画部、リビング事業部、ストック事業部の3部で構成されている。ほかにUEグループ会社である①電気・給排水・空調工事を施工する「あしだ冷熱」②設備の法定点検業務を実施する「建防メイセイ」の2社を傘下に持つ。グループ会社を合わせると約330人が所属する事業本部だ。

同事業本部は戸建てや中小規模建物を対象に、ガス内管工事を主軸にした温水床暖房や給排水、空調、電気、土木工事のほか建物管理やメンテナンス業務など8工種の総合設備事業を展開している。特にハウスメーカーには強く、ガス内管や温水床暖房工事では業界トップシェアを持つ。

総合設備事業化に注力する理由を取締役執行役員の野村公孝リビング事業本部長は「一つの建物における設備工事費の中でガス工事をベースに、他設備工事一式を請け負うことができれば、将来的に建築着工数が減少しても売上高を維持することができる」と説明する。

野村公孝リビング
事業本部長

首都圏全域をカバーする10カ所の施工拠点があり、首都圏の顧客からの工事依頼に迅速な対応が可能だ。UEが総合設備事業化を進めることで、顧客は複数の設備工事会社への分離発注が不要となり、効率化によるトータルソリューションの提供が可能となる。

UEは設備工事の大半を同社が手掛けることで、都市ガス化への提案の幅が広がる。それにより都市ガス事業者のガス拡販に貢献することも期待している。

大型施設の総合設備工事を提供

設備事業本部

超高層ビルや商業施設、大規模な集合住宅や工場など大型施設のガス内管工事を担当しているのが設備事業本部だ。さらに、集合住宅の温水床暖房や給排水工事も展開しており、その営業活動も同事業本部内で行う。

UEは高度な配管溶接技術を持つ技術者を多く抱えているため、工事依頼への対応力が高く、東京ガス管内でガス内管の溶接配管工事では、高いシェアを占めている。再開発に伴う超高層ビルなど特殊な物件のガス配管設計もできるため、専門的な設備工事を手掛ける大手サブコンからの受注が好調だ。

溶接技術をはじめとする専門技術を生かし、東京ガス管内にとどまらず、全国規模で高層ビルや燃料転換に伴う産業用大規模工場などの物件も手掛けている。

取締役執行役員の白髭隆明設備事業本部長は「高度な溶接技術を基軸にガス配管だけでなく、水素や蒸気、バイオメタンガスなどの分野に事業領域を拡大しつつある。安定供給と保安の確保を担いつつ、ガス事業者に天然ガスの普及拡大とともに脱炭素化でも貢献したい」と話す。

白髭隆明
設備事業本部長

ガス緊急対応やインフラを維持

保安事業本部

保安事業本部は、都市ガスライフラインを維持するための緊急待機や出動対応、また建物解体やリフォーム工事に伴う敷地内点検などの緊急対応業務と、検満ガスメーターの取り換え、マイコンメーターの作動時の復旧業務などのメンテナンス業務を二本柱にしている。

同事業本部が緊急保安業務を担当する東京ガスの中央地区管内は、港区や中央区、千代田区、新宿区、渋谷区、目黒区などを含んでおり、官公庁や大使館、大企業の建物が多い上に、建物が密集している重要エリアだ。

そこの保安を長期間にわたり維持してきた実績はUEの保安業務水準の高さを示している。今後も保安と品質の高さを維持するために、要員を導管事業本部の研修に派遣するなど教育を重視しているという。

取締役執行役員の岩崎昭彦保安事業本部長は「安全品質を担保し、無事故を目指すために、社長・取締役を含めた管理者が現場を100回訪問する『Visit（ビジット）100』運動も誠実に展開している。現場を何回も訪問し、協力企業様と密接に情報交換することで、トラブルを未然に防ぐ効果を期待している」と話す。

岩崎昭彦
保安事業本部長

課題はほかの事業本部と同様に担い手の不足だ。同事業本部の緊急保安業務は、高度なガス知識を必要とするため、IT化による代替えが難しい。協力企業を含めて関連の業務内容を周知するとともに、業務の重要性や社会貢献度、やりがいなど魅力のアピールに努めている。

ガスメーター関連業務はLKとCPEが統合したため、東京ガスの年間取り扱い件数の業界トップシェアを占める規模となった。こちらも業務品質維持のために、チームリーダー主体のワーキンググループを設置して、LKとCPEの早期融合を目指しているという。

2025年10月1日より
株式会社キャプティエンジニアリングと株式会社ライクスは経営統合しました
行こう、総合設備工事業の頂点へ
ユナイテッド エンジニアリング 株式会社
本社　東京都港区芝1-4-7　代表電話：03-3456-1850

ユナイテッドエンジニアリングホールディングス株式会社グループ会社

あしだ冷熱株式会社
電気工事業
神奈川県大和市大和南2-3-12
代表電話：046-261-8003
https://www.likes.co.jp/profile/outline/ashida-reinetsu/

SPC SYSTEM PLANNING CORPORATION
株式会社システムプランニングコーポレーション
建築設計・監理業務
東京都港区芝1-4-7 ニチガビル4階
代表電話：03-6665-8331
https://www.spco.co.jp/

株式会社建防メイセイ
ビルメンテナンス業
東京都品川区平塚2-4-20 伊藤ビル2F
代表電話：03-5750-5101
https://www.kenbou.co.jp/

稲葉電気興業株式会社 INABA DENKI KOGYO.CO.,LTD.
電気工事業
神奈川県相模原市中央区清新7-7-18
代表電話：042-758-3344
https://www.inaba-idk.co.jp/

LIKES VIETNAM CO.,LTD.
設備設計のアウトソーシング
2C Floor,JaboodaBuilding,19Dong Da Street, Ward2,Tan Binh District,Ho Chi Minh City
代表電話：+84 (0) 28 3535 0850
https://www.likes.co.jp/profile/outline/likes-vietnam/

株式会社ライクスセキュリティ
警備業
東京都杉並区和田1-14-2
代表電話：03-6304-8061
https://www.likes.co.jp/profile/outline/likes-security/

株式会社ツクモエンジニアリング
管工事業
神奈川県横浜市旭区今宿南2212
代表電話：045-955-0880

株式会社フジナミ
賃貸・リース業
東京都港区芝1-4-7
代表電話：03-3456-3366

池田商事株式会社
保険代理店
東京都港区芝1-4-7
代表電話：03-3452-9013